

令和6年度（2024年度）熊本県職員採用試験

【大学卒業程度（総合土木）】

論文課題

道路、河川、港湾、海岸施設、ダム、排水機場、ため池などの施設は、国民の生命・財産を守るとともに、様々な経済活動の活性化や生活利便性の向上に寄与する重要な社会資本である。

社会資本整備としては、地域の振興等を図るための新たな施設の整備のほか、高度成長期に整備され、老朽化が進んでいる施設の機能を保つための補修・更新も計画的に行う必要がある。さらに、近年、激甚化・頻発化する災害から県民の生命・財産を守るため、ハード・ソフトの両面から一体的な取組みを行う流域治水対策も進めている。

しかしながら、これら社会資本整備の予算は限られており、より効率的・効果的な取組みが求められている。

また、建設業界では、「担い手不足」や「技術の継承」も課題となっており、AIなどのデジタル技術を用いた建設DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組みも進めているところである。

このような状況を踏まえ、今後、社会資本整備を進めていくにあたり、「①新たな施設の整備」、「②老朽化施設の補修・更新」、「③流域治水対策」、及び「④担い手不足対策」の4つの中から一つを選択して、どのように取り組むべきか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

※ 答案用紙の題には「社会資本整備の効率的・効果的な取組み」と記入してください。

《注意事項》

- ※ この論文課題用紙は、試験員の指示があるまでこのまま伏せておいてください。
- ※ 答案用紙は表裏500字の1000字詰めとなっています。**800字程度で答案を作成してください。**
- ※ 下書きのための用紙は配布しませんので、この用紙をお使いください。
- ※ この論文課題用紙は持ち帰ることができます。